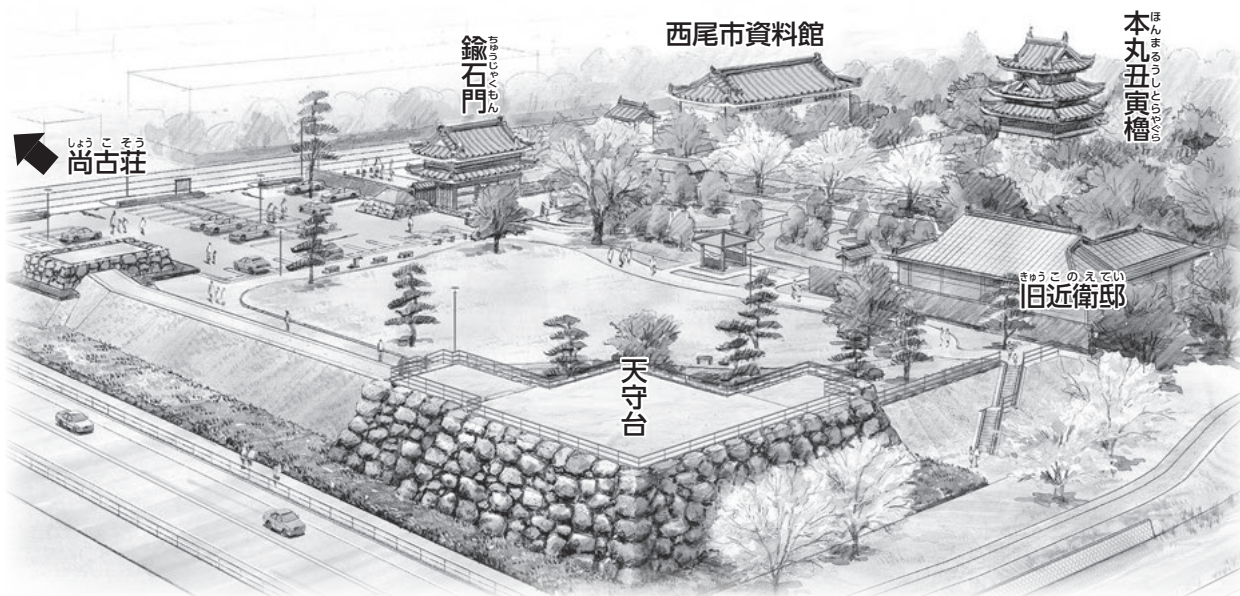


早春の歴史散歩 歴史公園編

立春を過ぎてはまだ寒い日が続き、室内にいることが多くなっていますか。運動不足の解消に、歴史公園の散歩がおすすめです。春には、桜が咲き誇る歴史公園。見どころを紹介します。

問 商工観光課観光担当 (☎65・2169)、文化振興課庶務担当 (☎56・6660)



旧近衛邸

問 ☎54・6758

京都の公家・近衛家の邸宅だった旧近衛邸は、江戸時代後期に薩摩藩島津家によって建てられた、書院と茶室のある数寄屋造りの建物です。昭和60年に壊されることになりましたが、これを惜しんだ西尾文化協会が自費で解体・移送し、市に寄贈。平成7年3月に歴史公園の中に開館しました。

旧近衛邸では、和菓子付き呈茶サービスを400円で楽しめます。散歩の休憩でのんびり一服してみたいいかがですか。

尚古荘

問 ☎53・0380

昭和の初期に、米穀商・岩崎明三郎が西尾城の東の丸の遺構を利用して造った美しい日本庭園が特徴の邸宅です。城郭の入口だった新門や堀の一部が残され、枯山水の庭園や茶室「不言庵」など趣向を凝らした造りになっています。「古を尚ぶ荘」という西尾城への思いから、尚古荘と名付けられました。

現在、茶会や写真撮影、会議などの会場として利用することもできます。詳しくは尚古荘へ。

本丸丑寅櫓

鎌倉時代初期に足利義氏が築城した西条城が、西尾城の起源といわれています。城の特徴は、最も重要な天守が二の丸にあること。明治の初めに天守や他の櫓は取り壊されましたが、丑寅櫓の櫓台は壊されず、当時のまま残っています。現在の櫓は、平成6年に行われた発掘調査を経て、城郭図を参考にして平成8年に再建されました。



旧近衛邸



本丸丑寅櫓



尚古荘